

マルチメディア ユーザーガイド

© Copyright 2009 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Windows は米国 Microsoft Corporation の米
国およびその他の国における登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更される
ことがあります。HP 製品およびサービスに
関する保証は、当該製品およびサービスに
付属の保証規定に明示的に記載されている
ものに限られます。本書のいかなる内容
も、当該保証に新たに保証を追加するもの
ではありません。本書に記載されている製
品情報は、日本国内で販売されていないも
のも含まれている場合があります。本書の
内容につきましては万全を期しております
が、本書の技術的あるいは校正上の誤り、
省略に対して責任を負いかねますのでご了
承ください。

初版：2009 年 8 月

製品番号：539210-291

製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデ
ルに共通の機能について説明します。一部
の機能は、お使いのコンピューターで対応
していない場合もあります。

目次

1 マルチメディア機能	
マルチメディア コンポーネントの確認	1
音量の調整	3
メディア操作機能の使用	3
メディア操作ホットキーの使用	4
2 マルチメディア ソフトウェア	
[HP DVD Play]ソフトウェアの使用	6
プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアの使用	6
ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール	6
3 オーディオ	
外付けオーディオ デバイスの接続	7
オーディオ機能の確認	7
4 動画	
外付けモニターまたはプロジェクターの接続	9
HDMI デバイスの接続（一部のモデルのみ）	10
HDMI 用のオーディオの設定（一部のモデルのみ）	10
5 オプティカル ドライブ	
取り付けられているオプティカル ドライブの確認	12
オプティカル ディスクの使用	12
正しいディスクの選択	13
CD-R ディスク	13
CD-RW ディスク	14
DVD±R ディスク	14
DVD±RW ディスク	14
LightScribe DVD+R ディスク	14
ブルーレイ ディスク	14
音楽の再生	14
動画の再生	15
DVD の地域設定の変更	16
CD または DVD の作成（書き込み）	17
CD、DVD、または BD の取り出し	18
6 Web カメラ（一部のモデルのみ）	

Web カメラ使用上の注意	20
Web カメラのプロパティの調整	21

7 トラブルシューティング


オプティカル ディスク トレイが開かず、CD、DVD、または BD を取り出せない場合	22
コンピューターがオプティカル ドライブを検出しない場合	23
ディスクが再生できない場合	23
ディスクが自動再生されない場合	24
DVD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合	24
DVD の動画が外付けディスプレイに表示されない場合	25
ディスクへの書き込み処理が行われず、または完了する前に終了してしまう場合	25
DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合	25
デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合	25
最新の HP デバイス ドライバーの入手	26
最新の Windows デバイス ドライバーの入手	26

索引	28
----------	----

1 マルチメディア機能

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。お使いのコンピューターには、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。


- オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクを再生するオプティカル ドライブ
- 音楽を再生する内蔵スピーカー
- 独自のオーディオを録音するための内蔵マイク
- サウンドを録音したり、動画を録画したりすることができる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- マルチメディアに関する操作をすばやく行うことのできるマルチメディア ホットキー

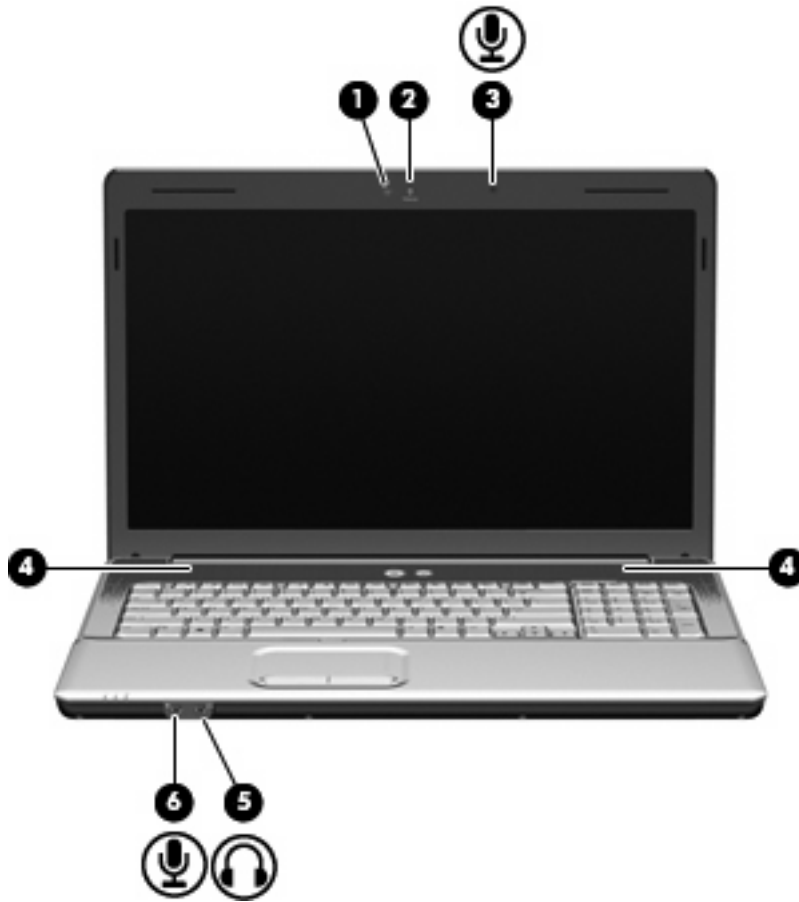
 **注記：** お使いのコンピューターによっては、一覧に記載されていても、一部のコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのコンピューターに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

マルチメディア コンポーネントの確認

以下の図と表で、コンピューターのマルチメディア機能について説明します。

 **注記：** お使いのコンピューターの外観は、図と多少異なる場合があります。また、以下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なります。



名称	説明
(1) Web カメラ ランプ	点灯 : Web カメラを使用しています
(2) Web カメラ	サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(3) 内蔵マイク	サウンドを録音します
(4) スピーカー (×2)	サウンドを出力します
(5) オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します。 警告! 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください 注記: ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります
(6) オーディオ入力 (マイク) コネクタ	別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します

音量の調整

音量の調整には、以下のどれかを使用します。

- ホットキー：
 - スピーカーの音を消したり音量を元に戻したりするには、**fn + ***（アスタリスク）キーを押します。
 - スピーカーの音量を下げるには、**fn + -**（マイナス）キーを押します。このホットキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります。
 - スピーカーの音量を上げるには、**fn + +**（プラス）キーを押します。このホットキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります。
- Windows®の[ボリューム コントロール]：
 - a. タスクバーの右端にある通知領域の[スピーカー]アイコンをクリックします。
 - b. 音量を調整するには、スライダーを上下に移動します。[スピーカーをミュート]アイコンをクリックすると、音が出なくなります。

- または -

- a. 通知領域の[スピーカー]アイコンを右クリックして、[音量ミキサーを開く]をクリックします。
- b. 音量を調整するには、[スピーカー]列でスライダーを上下に移動します。[スピーカーをミュート]アイコンをクリックして音を消すこともできます。

[スピーカー]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の操作を行って表示します。

- a. [隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）を右クリックします。
- b. [通知アイコンのカスタマイズ]をクリックします。
- c. [動作]で、音量アイコンについて[アイコンと通知を表示]を選択します。
- d. [OK]をクリックします。

- プログラムの音量調整機能

プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

メディア操作機能の使用

メディア操作ホットキーは、オプティカルドライブ内のオーディオ CD、DVD、または BD（ブルーレイディスク）の再生を制御します。

メディア操作ホットキーの使用

メディア操作ホットキーは、**fn** キー (1) とファンクション キー (2) の組み合わせです。

- オーディオ CD、DVD、または BD が再生中でない場合、**fn + f9** (3) を押すとディスクが再生されます。
- オーディオ CD、DVD、または BD の再生中は、以下のホットキーを使用します。
 - ディスクの再生を一時停止または再開するには、**fn + f9** (3) を押します。
 - ディスクを停止するには、**fn + f10** (4) を押します。
 - オーディオ CD の前のトラックまたは DVD か BD の前のチャプターを再生するには、**fn + f11** (5) を押します。
 - オーディオ CD の次のトラックまたは DVD か BD の次のチャプターを再生するには、**fn + f12** (6) を押します。



2 マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディアソフトウェアがプリインストールされています。ここでは、[HP DVD Play]およびプリインストールされている他のマルチメディアソフトウェアの詳細について説明します。

[HP DVD Play]ソフトウェアの使用

[HP DVD Play]によって、お使いのコンピューターが持ち運びのできるエンターテインメント ツールに変わります。[HP DVD Play]を使用すると、音楽や DVD の動画を楽しむことができます。


[HP DVD Play]を起動するには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[DVD Play]の順に選択します。

[HP DVD Play]の使用方法について詳しくは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアの使用

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。


- ▲ [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。たとえば、[Windows Media Player]でオーディオ CD を再生する場合は、[Windows Media Player]をクリックします。

 **注記：** サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

CD または DVD からマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、以下の操作を行います。

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動します。

 **注記：** コンピューターに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ディスクに収録されているか、ソフトウェアのヘルプに含まれているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

3 オーディオ

お使いのコンピューターでは、以下のようなさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピューターのスピーカーおよび接続した外付けスピーカーを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続した外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）またはFM ラジオ信号の受信
- オーディオ CD の作成（書き込み）

外付けオーディオ デバイスの接続

△ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください

外付けスピーカー、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピューターの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピューターの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバーがある場合は、そのドライバーをインストールします。

📖 **注記：** ドライバーは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバーターとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピューターのシステム サウンドを確認するには、以下の操作を行います。


1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [ハードウェアとサウンド]をクリックします。

3. **[サウンド]**をクリックします。
4. **[サウンド]**ウィンドウが開いたら、**[サウンド]**タブをクリックします。**[プログラム イベント]**でブープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、**[テスト]**ボタンをクリックします。

スピーカーまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピューターの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[サウンド レコーダー]**の順に選択します。
2. **[録音の開始]**をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. **[Windows Media Player]**または**[HP DVD Play]**を開き、サウンドを再生します。

 **注記：** 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

コンピューターのオーディオ設定を確認または変更するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[サウンド]**の順に選択します。

4 動画

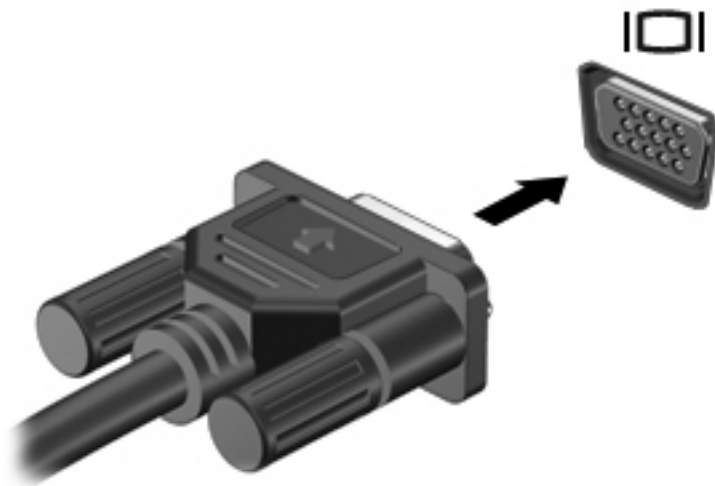
お使いのコンピューターでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーションの作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

外付けモニターまたはプロジェクターの接続

外付けモニター コネクタは、外付けモニターやプロジェクターなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピューターに接続するためのコネクタです。

- ▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニター コネクタに接続します。




注記： 正しく接続された外付けディスプレイ デバイ스에 画像が表示されない場合は、**fn + f4** キーを押して画像をデバイスに転送します。**fn + f4** を繰り返し押すと、表示画面がコンピューター本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

HDMI デバイスの接続（一部のモデルのみ）

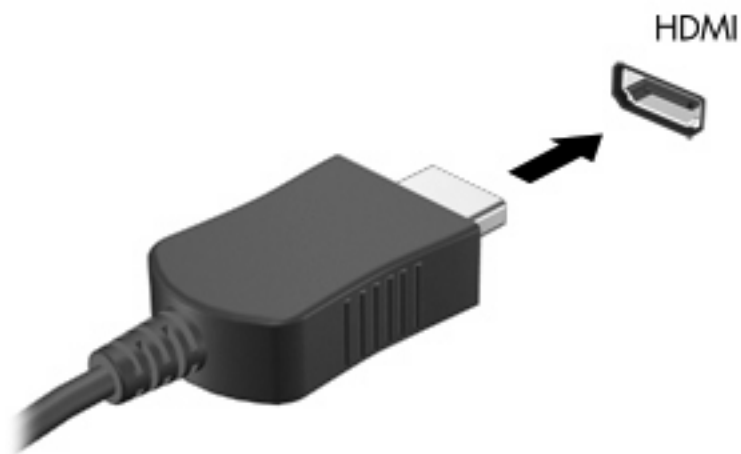
コンピューターには、HDMI（High Definition Multimedia Interface）コネクタが搭載されています。HDMI コネクタは、HD 対応テレビ、対応しているデジタルまたはオーディオ コンポーネントなどの別売の動画またはオーディオ デバイスとコンピューターを接続するためのコネクタです。

コンピューターは、HDMI コネクタに接続されている 1 つの HDMI デバイスをサポートすると同時に、コンピューター本体のディスプレイまたはサポートされている他の外付けディスプレイの画面をサポートできます。

 **注記：** HDMI コネクタを使用して動画信号を伝送するには、一般の電器店で販売されている HDMI ケーブルを別途購入する必要があります。

HDMI コネクタに動画またはオーディオ デバイスを接続するには、以下の操作を行います。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピューターの HDMI コネクタに接続します。



2. 製造元の説明書等の手順に沿って操作し、ケーブルのもう一方の端をビデオ デバイスに接続します。
3. コンピューターに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、コンピューターの **fn + f4** キーを押します。

HDMI 用のオーディオの設定（一部のモデルのみ）

HDMI オーディオを設定するには、まず、お使いのコンピューターの HDMI コネクタに HD 対応テレビなどのオーディオまたはビデオ デバイスを接続します。次に、以下の手順でオーディオ再生の初期デバイスを設定します。

1. タスクバーの右端にある通知領域の[スピーカー]アイコンを右クリックし、[再生デバイス]をクリックします。
2. [再生]タブで[デジタル出力]または[デジタル出力デバイス（HDMI）]をクリックします。
3. [初期設定値に設定]→[OK]の順にクリックします。

オーディオをコンピューターのスピーカーに戻すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端にある通知領域の[スピーカー]アイコンを右クリックし、[再生デバイス]をクリックします。
2. [再生]タブで[スピーカー]をクリックします。
3. [初期設定値に設定]→[OK]の順にクリックします。

5 オプティカル ドライブ

お使いのコンピューターには、コンピューターの機能を拡張するオプティカル ドライブが搭載されています。コンピューターに搭載されているデバイスの種類を識別して、その機能を確認します。オプティカル ドライブを使用すると、データ ディスクを読み取ったり、音楽や動画を再生したりできます。お使いのコンピューターにブルーレイ ディスク ROM ドライブが内蔵されている場合は、ディスクから HD 対応動画を再生することもできます。

取り付けられているオプティカル ドライブの確認

▲ [スタート]→[コンピューター]の順に選択します。


お使いのコンピューターにインストールされているオプティカル ドライブを含むすべてのデバイスの一覧が表示されます。以下のどれかの種類のドライブが含まれている可能性があります。

- スーパーマルチ DVD±RW および CD-RW コンボ ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)
- スーパーマルチ/LightScribe DVD±RW および CD-RW コンボ ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)
- ブルーレイ ROM DVD±R/RW スーパー マルチ ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)
- LightScribe/スーパー マルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ROM ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)

オプティカル ディスクの使用

DVD-ROM などのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク (CD および DVD) に対応しています。これらのディスクには、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD ディスクの読み取りができます。オプティカル ドライブがブルーレイ ディスク ROM ドライブである場合、ブルーレイのディスクを読み取ることもできます。

 **注記：** ここに示すオプティカル ドライブによっては、コンピューターでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブのすべてが一覧に記載されているわけではありません。

以下の表に示すように、オプティカル ドライブによっては、オプティカル ディスクに書き込みができるものもあります。

光学ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD±RW/R への書き込み	DVD+RW DL への書き込み	LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み
スーパーマルチ DVD ±RW および CD-RW コンボドライブ (2層記録 (DL) 対応)	可	可	可	不可
スーパーマルチ/ LightScribe DVD ±RW および CD-RW コンボドライブ (2層記録 (DL) 対応)	可	可	可	可
ブルーレイ ROM DVD ±R/RW スーパーマルチドライブ (2層記録 (DL) 対応)	可	可	可	不可
LightScribe/スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ROM ドライブ (2層記録 (DL) 対応)	可	可	可	可

△ **注意：** オーディオやビデオの劣化やデータの損失、またはオーディオやビデオの再生機能の損失を防ぐため、CD、DVD、BD の読み取り、CD または DVD への書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

正しいディスクの選択

光学ドライブは、光学ディスク (CD および DVD) に対応しています。デジタルデータの保存に使用される CD は商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD は主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップ用に使用されます。DVD は CD と同じ形態ですが、容量は 6 ~ 7 倍になります。

📖 **注記：** お使いのコンピューターに取り付けられている光学ドライブによっては、この項目で説明している一部の光学ディスクに対応していない場合もあります。

CD-R ディスク

CD-R (一度のみ書き込み可能) ディスクは、恒久的なアーカイブを作成したり、あらゆるユーザーとファイルを共有したりするときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオクリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピューターのファイルやスキャンした記録資料などの恒久的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード

データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込みの可能な CD）は、頻繁にアップデートする必要があるサイズの大きいプロジェクトを保存するときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクト ファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハードドライブ ファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

DVD±R ディスク

DVD±R ディスクは、大量の情報を永続的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD±RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録テストをするのに最も適しています。

LightScribe DVD+R ディスク

LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホーム ビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。このディスクは、ほとんどの DVD-ROM ドライブや DVD ビデオ プレーヤーでの読み取りに対応しています。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込むのみでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

ブルーレイ ディスク

BD とも呼ばれるブルーレイ ディスクは、HD 対応動画などのデジタル情報を保存する高密度オプティカル ディスク フォーマットです。1 枚の 1 層式ブルーレイ ディスクで 25 GB まで保存でき、これは 4.7 GB の 1 層式 DVD の 5 倍以上の容量です。2 層式のブルーレイ ディスクでは 1 枚で 50 GB まで保存でき、これは 8.5 GB の 2 層式 DVD の 6 倍近くの容量になります。


通常は、以下の用途で使用します。

- 大量のデータの保存
- HD 対応動画の再生と保存
- ビデオ ゲーム

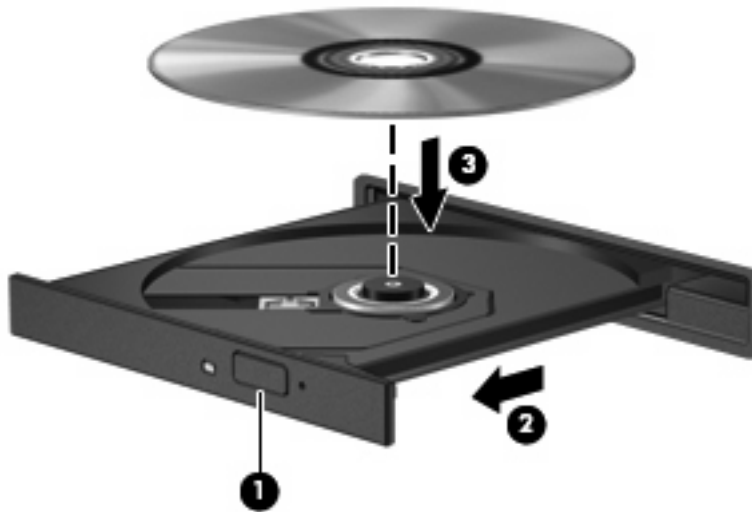
音楽の再生

1. コンピューターの電源を入れます。
2. オプティカル ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン (1) を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します (2)。


4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

 **注記：** ディスクトレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまでディスクをゆっくり押し下げます (3)。



6. ディスクトレイを閉じます。
7. 自動再生の動作を設定していない場合は、[自動再生]ダイアログボックスが開き、メディアコンテンツの使用方法を選択するように要求されます。[HP DVD Play]または[Windows Media Player]を選択します。これらはどちらもお使いのコンピューターにプリインストールされています。

 **注記：** ディスクの挿入後、プレーヤーの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。

ディスクの再生中にスリープまたはハイバネーションを開始した場合、以下のことが発生します。


- 再生が中断する場合があります。
- 続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。
- CDまたはDVDを再起動し、オーディオまたは動画の再生を再開しなければならない場合があります。

動画の再生

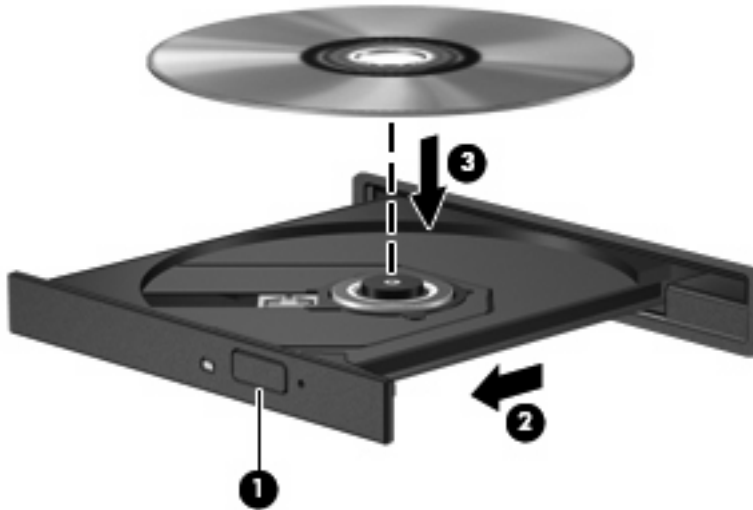
光学ドライブを使用して、ディスクの動画を鑑賞できます。別売のブルーレイディスクROMドライブがコンピューターに搭載されている場合は、HD対応動画の鑑賞もできます。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. 光学ドライブのフロントパネルにあるリリースボタン (1) を押して、ディスクトレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します (2)。


4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

 **注記：** ディスクトレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまでディスクをゆっくり押し下げます (3)。




6. ディスクトレイを閉じます。
7. [DVD Play]によって自動的に動画が再生されます。

 **注記：** HD 対応動画を鑑賞するには、[HP DVD Play]を使用する必要があります。

DVD の地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。


 **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。


オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]の順に選択します。次に、[システム]領域で[デバイス マネージャー]をクリックします。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント調整機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

2. [DVD/CD-ROM ドライブ]の横の矢印をクリックして一覧を展開し、取り付けられているすべてのドライブを表示します。
3. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に[プロパティ]をクリックします。
4. [DVD 地域]タブで変更を行います。
5. [OK]をクリックします。


CD または DVD の作成（書き込み）

 **注記：** 著作権に関する警告に従ってください。コンピューター プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

お使いのコンピューターに CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカル ドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]または[CyberLink Power2Go]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータ、動画、およびオーディオ ファイルを書き込むことができます。

CD または DVD に書き込むときは、以下のガイドラインを参考にしてください。


- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- 通常、オーディオ ファイルの書き込みには CD-R または DVD-R が最適です。これはデータがコピーされた後、変更ができないためです。

 **注記：** [CyberLink Power2Go]では、オーディオ DVD を作成することはできません。

- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- 通常、CD-RW または DVD-RW は、データ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。
- 通常、家庭用のシステムで使用される DVD プレーヤーは、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤーに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、また、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピューターでのみ再生できません。

CD または DVD にデータを書き込むには、以下の操作を行います。

1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダーにダウンロードまたはコピーします。
2. 空の CD または DVD をオプティカルドライブに挿入します。
3. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。

 **注記：** サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。

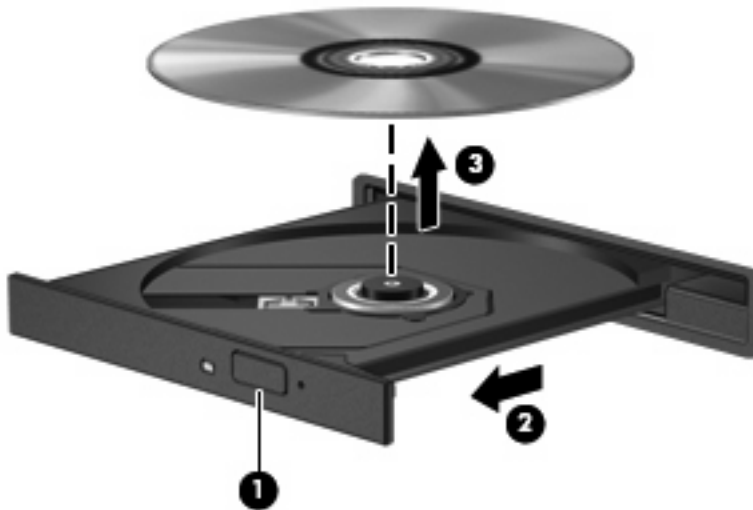
4. 作成するディスクの種類（データ、オーディオ、またはビデオ）を選択します。
5. **[スタート]**を右クリックしてから**[エクスプローラーを開く]**をクリックし、元のファイルが保存されているフォルダーに移動します。
6. フォルダーを開き、空のオプティカルディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

手順について詳しくは、それぞれのソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

CD、DVD、または BD の取り出し

1. ドライブのフロントパネルにあるリリース ボタン (1) を押してディスクトレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します (2)。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。




3. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

6 Web カメラ（一部のモデルのみ）


お使いのコンピューターによっては、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されているものもあります。Web カメラは、動画の取り込みと共有を可能にする入力デバイスです。プリインストールされている[CyberLink YouCam]ソフトウェアの新しい機能を使用すると、Web カメラの操作性を向上させることができます。

Web カメラおよび[CyberLink YouCam]ソフトウェアを使用するには、**[スタート]→[すべてのプログラム]→[CyberLink YouCam]→[CyberLink YouCam]**の順に選択します。

 **注記：** [YouCam]ソフトウェアに初めてアクセスしたときに、ソフトウェアが起動するまでに多少時間がかかる場合があります。

[YouCam]を初期設定の Web カメラ ソフトウェアとして使用すると、以下の機能を利用できます。


- **動画：** 動画の録画や再生を行います。また、ソフトウェア インタフェースのアイコンを使用して、動画を電子メールで送信したり、YouTube にアップロードしたりできます。また、ソフトウェア インタフェースのアイコンを使用して、動画を電子メールで送信したり、YouTube にアップロードしたりできます。
- **動画の再生：** インスタント メッセージ プログラムを起動すると、YouCam によってツールバーが表示されます。そのツールバーからグラフィックスによる効果を追加できます。
- **特殊効果：** フレーム、フィルター、およびエモティコン（顔文字）を写真や動画に追加できます。
- **スナップ写真：** 写真を 1 枚ずつ撮影したり、一気に連続して撮影したりできます。
- **接続：** ソフトウェア インタフェースのアイコンを使用して、写真や動画を電子メールで送信できます。

 **注記：** Web カメラ ソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

Web カメラ使用上の注意

パフォーマンスを最適にするために、Web カメラを使用するときには以下のガイドラインを参考にしてください。

- 動画によるチャットを行う前に、インスタント メッセージ プログラムが最新のバージョンであることを確認してください。
- ネットワーク ファイアウォールの種類によっては、Web カメラが正常に機能しない場合があります。

 **注記：** マルチメディア ファイルを閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザーへマルチメディア ファイルを送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定したり、他の侵入検知システムのポリシーや設定を調整したりします。

Web カメラのプロパティの調整

[プロパティ]ダイアログボックスを使用して、Web カメラのプロパティを調整できます。通常このダイアログボックスには、内蔵カメラを使用する各種プログラムの構成、設定、またはプロパティメニューからアクセスできます。

- [輝度]：画像に取り込まれる光の量を調整します。輝度を高く設定するとより明るい画像になり、輝度を低く設定するとより暗い画像になります。
- [コントラスト]：画像の明るさと暗さの対比を調整します。コントラストを高く設定すると画像の対比の度合いが高まり、コントラストを低く設定すると、元の情報のダイナミックレンジを維持しますがより平面的な画像になります。
- [色相]：他の色との特性の差異（赤、緑、青の度合い）を調整します。色相は色彩と異なり、色彩は色相の強さを示します。
- [色彩]：最終的な画像の色みの強さを調整します。色彩を高く設定するとより鮮やかな画像になり、色彩を低く設定するとよりくすんだ画像になります。
- [シャープネス]：画像の境界線の緻密さを調整します。シャープネスを高く設定するとよりはっきりとした画像になり、シャープネスを低く設定するとより柔らかい画像になります。
- [ガンマ]：画像の中間調の灰色または中間色に作用する対比を調整します。画像のガンマを調整すると、シャドウとハイライトを大幅に変更しないで、中間グレイ トーンの明度値を変更できます。ガンマを低く設定すると灰色はより黒く、濃い色はより濃くなります。
- [バックライト補正]：バックライトの明るさを調整します。（バックライトが明るすぎて対象物が輪郭のみになるなど、画像が極端にぼやけてしまう場合に使用します。）


Web カメラの使用方法については、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

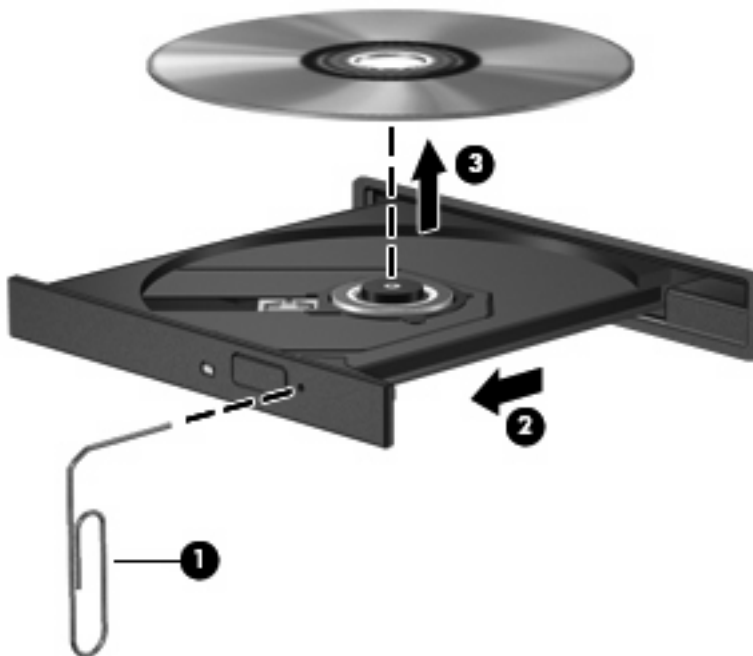
7 トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

光学ディスクトレイが開かず、CD、DVD、またはBDを取り出せない場合

1. ドライブのフロントパネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ (1) の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスクトレイが開いたら、トレイを完全に引き出します (2)。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。



4. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

コンピューターがオプティカル ドライブを検出しない場合

オプティカル ドライブをコンピューターが検出しない場合は、デバイス ドライバー ソフトウェアがなくなったか壊れている可能性があります。オプティカル ドライブが検出されていないことが疑われる場合は、そのオプティカル ドライブが[デバイス マネージャー]ユーティリティに一覧表示されていることを確認してください。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]の順にクリックします。次に、[システム]領域で[デバイス マネージャー]をクリックします。
3. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、DVD/CD-ROM ドライブの横の矢印をクリックして一覧を展開し、取り付けられているすべてのドライブを表示します。
4. 表示されているオプティカル デバイスを右クリックすると、以下のタスクを実行できます。
 - ドライバー ソフトウェアの更新
 - 無効化
 - アンインストール
 - ハードウェア変更のスキャン。Windows はシステムをスキャンして取り付けられているハードウェアを検出し、必要な初期設定のドライバーをインストールします。
 - デバイスが正しく動作しているかどうかを確認するには、[プロパティ]をクリックします。
-[プロパティ]ウィンドウには、問題のトラブルシューティングに役立つデバイスの詳細情報が表示されます。
-デバイスのドライバーを更新、無効化、またはアンインストールするには、[ドライバー]タブをクリックします。

ディスクが再生できない場合

- CD、DVD、または BD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD、DVD、または BD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクの中心から外側に向けて拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電器店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、[いいえ]をクリックします。[いいえ]をクリックすると以下ようになります。

- 再生が再開します。

- または -

- マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの[再生]ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動する必要が生じることもあります。
- システムのリソースを増やします。
 - プリンターとスキャナーなどの外付けデバイスの電源を切ります。外付けデバイスを切断することで、システム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。
 - デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。
 1. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、[画面の解像度]を選択します。
 2. [詳細設定]→[モニター]タブの順にクリックします。
 3. 設定がまだされていない場合は、[High Color (16 ビット)]を選択します。
 4. [OK]をクリックします。

ディスクが自動再生されない場合

1. [スタート]→[既定のプログラム]→[自動再生の設定の変更]の順にクリックします。
2. [すべてのメディアとデバイスで自動再生を使用する]チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. [保存]をクリックします。


これで、CD、DVD、または BD をオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

DVD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
 - インターネットからログオフします。
 - デスクトップの色のプロパティを変更します。
 1. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、[画面の解像度]を選択します。
 2. [詳細設定]→[モニター]タブの順にクリックします。
 3. 設定がまだされていない場合は、[High Color (16 ビット)]を選択します。
 4. [OK]をクリックします。
 - プリンター、スキャナー、カメラ、携帯電話などの外付けデバイスを取り外します。

DVD の動画が外付けディスプレイに表示されない場合

1. コンピューターのディスプレイと外付けディスプレイの両方の電源が入っている場合は、**fn + f4** を 1 回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。
2. 外付けディスプレイがメインになるようにモニターの設定を行います。
 - a. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[画面の解像度]**を選択します。
 - b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

 **注記：** 両方のディスプレイを使用する場合は、DVD の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

マルチメディアに関して、このガイドで説明されていない質問については、**[スタート]** → **[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

ディスクへの書き込み処理が行われず、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープ モードおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- **[デバイス マネージャー]**の**[DVD/CD-ROM ドライブ]**カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバーを再インストールします。

DVD を**[Windows Media Player]**で再生したときに音や画面が出ない場合


DVD を再生するには、**[HP DVD Play]**を使用します。**[HP DVD Play]**はコンピューターにインストールされています。また、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/>からも入手できます。

デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]** → **[コントロール パネル]** → **[システムとセキュリティ]**の順に選択します。次に、**[システム]**領域で**[デバイス マネージャー]**をクリックします。
3. **[デバイス マネージャー]**ウィンドウで、アンインストールおよび再インストールするドライバーの種類（DVD/CD-ROM やモデムなど）の横の矢印をクリックします。

4. 表示されているデバイスを右クリックし、**[アンインストール]**をクリックします。確認のメッセージが表示されたら、デバイスを削除することを確認します。ただし、コンピューターは再起動しないでください。削除するその他のすべてのドライバーでこの操作を繰り返します。

5. **[デバイス マネージャー]**ウィンドウで**[操作]**→**[ハードウェア変更のスキャン]**の順にクリックします。Windows はシステムをスキャンしてインストールされているハードウェアを検出し、ドライバーを必要とするデバイスに対して初期設定のドライバーをインストールします。

 **注記：** コンピューターを再起動する画面が表示された場合は、開いているファイルをすべて保存してから再起動を続行します。

6. 必要に応じて**[デバイス マネージャー]**を再び開き、ドライバーが表示されていることをもう一度確認します。

7. デバイスを使用します。

デバイス ドライバーをアンインストールまたは再インストールしても問題が解決されない場合は、以下の項目の手順に沿ってドライバーを更新する必要があります。

最新の HP デバイス ドライバーの入手

1. インターネット ブラウザーを開いて、<http://www.hp.com/jp/support/>を表示します。

2. **[ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]**オプションをクリックし、**[製品名・番号で検索]**フィールドにお使いのコンピューターの製品名または製品番号を入力してから、**enter** キーを押します。

- または -


特定の SoftPaq が必要な場合は、**[製品名・番号で検索]**フィールドに SoftPaq 番号を入力し、**enter** キーを押して直接検索することもできます。手順 6 に進んでください。

3. 一覧に表示されたモデルから特定の製品をクリックします。

4. Windows 7 オペレーティング システムをクリックします。

5. ドライバーの一覧が表示されたら、更新されたドライバーをクリックして追加の情報を含むウィンドウを開きます。

6. 更新されたドライバーをインストールするには、**[ダウンロードを開始する]**をクリックします。

 **注記：** 地域によっては、ドライバーをダウンロードしておいて後でインストールできる場合があります。その場合、コンピューターにファイルを保存するには、**[ダウンロードのみ]**のような、ダウンロードを行うためのオプションをクリックします。メッセージが表示されたら、**[保存]**をクリックして、ハードドライブ上のファイルを保存する場所を選択します。ファイルをダウンロードしたらファイルを保存したフォルダーに移動し、ファイルをダブルクリックしてインストールします。


7. インストールが完了した後に、コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示された場合はコンピューターを再起動して、デバイスの動作を確認します。

最新の Windows デバイス ドライバーの入手

[Windows Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバーを入手できます。この機能では、Windows オペレーティング システムおよび Microsoft®社のその他の製品の更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Windows Update]を使用するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Update]**の順にクリックします。

 **注記：** 以前に[Windows Update]を設定したことがない場合は、更新プログラムを確認する前に設定を入力するように求められます。

2. **[更新プログラムの確認]**をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

索引

- B**
 - BD
 - 挿入 15
 - 取り出し 18, 22
- C**
 - CD
 - 書き込み 17
 - 挿入 14
 - ドライブ 12
 - 取り出し 18, 22
- D**
 - DVD
 - 書き込み 17
 - 挿入 14
 - 地域設定の変更 16
 - 地域設定 16
 - ドライブ 12
 - 取り出し 18, 22
- H**
 - HDMI
 - コネクタ 10
 - 接続 10
 - HD 対応デバイス、接続 10
 - HP DVD Play 6, 16
- W**
 - Web カメラ
 - 使用上の注意 20
 - 使用 19
 - プロパティの調整 21
 - ランプ 2
- い**
 - イヤフォン 2
- お**
 - オーディオ機能
 - 確認 7
 - オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ 2
 - オーディオ デバイス、外部接続 7
 - オーディオ入力（マイク）コネクタ 2
 - オプティカル ディスク
 - 使用 12
 - 挿入 14
 - 取り出し、電源使用時 18
 - ブルーレイ 14
 - オプティカル ドライブ 12
 - 音量、調整 3
- か**
 - 確認、オーディオ機能 7
- こ**
 - コネクタ
 - HDMI 10
 - オーディオ出力（ヘッドフォン） 2
 - オーディオ入力（マイク） 2
 - 外付けモニター 9
- す**
 - スピーカー 2
- そ**
 - 外付けオーディオ デバイス、接続 7
 - 外付けモニター コネクタ 9
 - ソフトウェア
 - Windows Media Player 6
 - インストール 6
 - マルチメディア 6
- ち**
 - 地域コード、DVD 16
- て**
 - デジタル デュアル アレイ マイク、位置 2
 - デバイス ドライバー
 - HP ドライバー 26
 - Microsoft ドライバー 26
- と**
 - 動画
 - 再生 15
 - 使用 9
 - ドライブ
 - オプティカル 12
 - トラブルシューティング
 - DVD 動画再生 24
 - HP デバイス ドライバー 26
 - Microsoft デバイス ドライバー 26
 - オプティカル ディスク トレイ 22
 - オプティカル ドライブ 検出 23
 - 外付けディスプレイ 25
 - ディスクの再生 23, 24
 - ディスクへの書き込み 25
- な**
 - 内蔵デジタル デュアル アレイ マイク、位置 2
- ふ**
 - ブルーレイ ディスク 14
 - プロジェクター、接続 9
 - プロパティの調整、Web カメラ 21

へ

ヘッドフォン（オーディオ出力）コ
ネクタ 2
ヘッドフォン 2

ほ

ホットキー
スピーカーの音を消す/音量を元
に戻す 3

ま

マイク、内蔵 2
マルチメディア コンポーネント、
確認 1
マルチメディア ソフトウェア
インストール 6

め

メディア操作ホットキー 4

も

モニター、接続 9
問題、解決 22

